第 2014-48 号

恵みと真理のニュース

2014 年 11 月の五次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］ 神様は私の多血質な性格を温柔な人柄で変ってくださり 家庭の福音化を成しとけてくださいました

私がイエス様を信じたことは神様の奇跡です。私の家は代々に神様を知らなくて熱心に偶像崇拝をする家庭で生まれ育ちました。家族の中で特に母は子供達が体が痛いと言うと病院と薬局に行くより偶像崇拝をしたり、巫女にならなければならない。と言えるほどでした。母の言葉の通り信じ従いながら育ちました。

成長しながら偶像崇拝をすることに対して懐疑をいだきました。神様を信じる家庭と偶像崇拝をする家庭が隣りに住みました。神様を信じる家庭は大変な事でもすべての家族がむしろ感謝し賛美する事が真にうらやましかったです。その代り偶像崇拝をする家庭はお互いにけんかをして家庭がうるさかったです。相反する環境を見て私のかぞくを考えました。そして世界を考えました。キリストを信じる国は貧しい国がなくて全部先進国でした。しかし偶像宗教の国は貧しい国々でした。“私もこれから教会を行ってみよう。教会に通う人々はお酒も飲まなくてタバコも吸わないし家庭にも忠実で頑張って生きるでしょう。”と思いました。家から近いところを探しました。福音真理と教会生活に対して何も知らなくて探して行った教会で私を喜んで歓迎してくださいました。まだ、説教が難しくて理解出来なかったですが、賛美を歌うのが嬉しくて賛美を歌うと涙が止まらなったです。その日、歌った賛美歌の歌詞を大きい紙で書き家のあちこちで貼ってよく賛美を歌いながら歌詞と曲を覚えました。そして聖書を買ってどこに行っても持って行きました。

アンヤンで引越しをしてから新しく通う教会を探すうちに首区域長が恵みと真理教会で導いてくださいました。その方の真心と親切さで仕方なく一ヶ月通ったあと続けて通うかどうかは後で決定すると言いました。初めは裏の空で説教を聴き礼拝時間にづっと居眠りしてなぜこんなに人が多いのか不平をしました。

15 日が過ぎてから変化が来ました。聖徒みなが当会長の牧師の説教で恵まれた。と言われて刺激を受け私も心を開いて説教を聴き始めました。説教を聴く前にまず神様に“私も
恵まれるよう”に祈りました。その後から準備した心で説教を聴くと神様がくださる御言葉に恵まれました。今まで恵まれる御言葉を聞かなくて無駄に過ごした時間がもったいなかったです。その時から礼拝の後も説教のテープを買って繰返して聞きました。

そのように御言葉に恵みを受けながら教会生活が楽しくなるとある時から心で不満が出来ました。放送と本をみるとある人は天国に行ってきたと言ったり、ある人は神秘体験をしたと証をするが私は特に幻を見たり神秘な体験も何もなかったからです。他の聖徒の劣らずに奉仕と伝道しているのに何も起こらないですか不平をしました。“神様、私にも天国を見せてください。幻も見てください主の御声も聞かせてください。祈る時もありました。イスラエルの民が荒野でモーセとアロンのように神様に向かって不平と恨んだ事と同じでした。

そうするうちに説教を通して明確に悟らせました。御言葉に根強い信仰だけが健康で真な信仰でどんな状況でも揺れない信仰であることを知らせてくださいました。以前よりもっと御言葉の恵みを愛し礼拝中心、御言葉の中心の信仰で育ちました。そのように教会中心、礼拝中心で生活すると旦那は“教会にあまりにも熱心だ。なによりも敵当にしたほうが良いのに熱心すぎるから教会が嫌いだ”と言いながら 私を迫害しました。そして“キリスト教だけ救いがあると他の宗教とは交流しなくて協力しないキリスト教はあまりにも偏狭に過ぎる。”と言われました。私が福音真理を言うと口答えをすると怒って聖書を破ってかばんとテープを捨てるまでしました。旦那が私を苦しむときには世の中の多くの人の中でなぜこの人が旦那になったのか不平と恨みました。

“神様、ぜひ旦那とけんかしないようにしてください。旦那の迫害を乗り越えるように旦那のその固い心を変化してください。”毎日神様の助けを望みながら神様に切に祈りました。しかし旦那はすぐ変りませんでした。私ももともと多血質ですぐ怒ったりけんかをする時には自分が先に引き下がる事がなかった性格でしたが熱心に祈りの中で聖霊様の助けで怒りを我慢して理解して寛容な性格に変化するようになりました。神様の恵みと摂理で聖地巡礼に行って神様の前で私の悪い罪を見せてくださり悔い改めました。広野の道をすぎる間、“私の心が広野だった、旦那竹でなく今まで周りの人々を苦しめたな、神様を信じて仕えると言いながら柔和で謙遜ではない行動したと思い涙を流しながら悔い改めました。十字架を背負って主が行った道を歩きながらいくら泣いたか分かりません。罪がないイエス様が私の罪のために十字架にしなれ血と水一滴も残さず流して死なれたのに、私は旦那の迫害さえ耐えなくて神様を恨んだ事を悔い改めました。教会では区域長の職分をくださるときにこれを感謝で受け取れなかった事も悔い改めました。

その後、神様は私に多くの祝福と恵みを与えてくださいました。私が変化され家庭もついでに変化しました。和やかな家庭になり、主の平安で充満になり。すべてのことに 万事が益となるように共に働くようにしてくださいました。人と環境を見なくて神様だけを見るようにしてくださいました。忍耐と祈りが無駄にならないように頑な旦那を変えてくださり神様をよく信じる聖徒になるようにしてくださいました。私にも、次々に首区域長と勧士の職分をくださり世のどこからも得られない喜びと聖徒を仕えるようにしてくださり数年前には 20 年区域長の賞ももらえる栄誉もくださいました。ハレルヤ！

魂が恵まれているように、すべての面で恵まれ、健康であるようにしてくださる神様を賛美します。どんな事でも感謝し教会の聖徒を仕える聖歌隊で奉仕することに最善を尽くす恵みに感謝を捧げます。私達の教会がこの地ですべての神霊な主の恵みを体験する事が天国です。

［信仰コラム］ 三つの部類の人生

ネブカデネザルは言った、「シャデラク、メシャク、アベデネゴの神はほむべきかな。神はその使者をつかわして、（ダニエル書，3:28~30）

″あなたの一生で最大の喜びと幸せを感じらせてくれることが何ですか?″という質問を受けたら皆さんはどんなに答えますか? 真のクリスチャンの返事はこのようです．″神様がいらっしゃるということと神様がどんな方なのかを分かって信じるようになったのです.″ 神様に対する認識と態度はその人の生と死の意味，来世の運命を決めるようにします．神様に対する認識と信仰だという面でよく見れば三つの部類の人生があります．これを明らかにそして劇的に備えて見せてくれる場面がダニエル書 2 章と 3 章にあります.

第一の部類は，偶像を仕える人々です.

人には獣たちに捜してみることができない神さまの意識と罪の意識があります．これは教育を通じて持つようになるのではなく先天的に与えられるのです．ところで不幸にも真の神様が分からなくて被造物を仕えるとか鬼を仕える偶像崇拝をする人々がいます．ネブカデネザル王が立てた金の像に敬排した人々は偶像崇拝をする人々です．各々仕える神さまが何でも彼らはものともせずにためらわずに金の像にお辞儀をしました.宗教は皆大同小異なので相互尊重して他の宗教人たちに改宗を勧めてはいけないと主張するのが偶像崇拝の宗教の普遍的な性格です.

二番目の部類は，偶像とは区別された神様がいらっしゃることを認識して認めながらも仕えない人々です.

ネブカデネザル王はこんな部類の人々の行動をそのまま見せてくれる示しです．彼はダニエルが神様がくださった知恵で自分が見た夢の内容をそのまま言いながら明快に夢を判することを聞いて，感嘆してダニエルに伏せてお辞儀をして礼物と香品を与えるように言い付けました．そしてからは″あなたがこの隠密なことを現わすことができることを見たら，あなたがたの神様は神々中の神さまで王たち中の主であり，隠密なものなどを現わす方なのが明らかだ.″と言いました．また彼は彼が立てた金の像の前にお辞儀をしないことなら激烈に燃える溶炉に投げられたが火に焼けたにおいさえしないシャデラク、メシャクおよびアベデネゴを見て衝撃を受けて大きく感動して″シャデラク、メシャクおよびアベデネゴの神様をほむべきかな… .″と叫んで彼らをもっと高めてくれました．それなのに彼は振り返えて神様を仕えなくて相変らず偶像宗教を仕えました．このネブカデネザル王と似たり寄ったりに処身する自称キリスチャンという人々がいます．彼らは教会に出席して礼拝に参詣して奉事もするが聖書の言葉を信仰と行為の絶対的基準で信じないです．彼らは宗教多元主義者たちで各宗教それぞれの救いの真理があると言います．こんな信仰観を持って神様を仕えるということは不合理説です.

三番目の部類は，聖書に啓示された神様のみを相変わらず信じて仕える人々です.

ダニエルとシャデラク、メシャクおよびアベデネゴはこんな信仰を持った人の標本です．こんな聖徒は創造主で救援者である神様を信じる信仰を世の中の権勢や財物より重く思って肉身の命よりもっと珍しく考える人々です．こんな信仰を持ったクリスチャンは偶像崇拝は憎むが偶像宗教を信奉する人は愛するから非難と逼迫を受けることを恐れないでこれを忍耐しながら伝道します．このような信者が生まれかわった信者です.世の中の褒めの言葉や肉身的な安危と利得のために福音を混雑するようにして変わるようにする者等をかばって彼らの活動を助ける事をすることは真の信者としては絶対にできない事です．生まれかわった聖徒という自分が創造主である神様が分かって救世主であるイエスキリストが分かるようになったことと信じるようになった事実によって世の中では持つことができない喜びを持つのが当たり前です.

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

防　波　堤

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

海の大きい波が急に陸地であふれて入って来る自然現象をつなみだと言います．1959 年 9 月 17 日夜明けに台風サラが朝鮮半島に到着して南部地方に莫大な被害 を被らせて明くる日に東海にくぐった後消滅しました．強風に暴雨まで重なって海岸地域では力強いつなみが起こって，川が逆流して南部の地方の全域の家屋と農耕地が水に浸りました．私はその日の記憶が今も鮮やかです．我家は高い地帯にあったから釜山の海と波止場が一目に入って来ました．台風の威力に我家の壁の面が倒れて茫然するようになって海の側を眺めたら水平線に大きい波が起きて港に向けて押し寄せるのが見えました．もしその勢いとおりなら港に停泊した船たちは一つも残らないですべて沈むようでした．ところで押し寄せた波の山が１ヶ所に至るとそのまま崩れ落ちました．詳らかに見たら外港と内港の間にある防波堤のためでした．　その日に私は防波堤の役目を印象深く実感しました．海岸には多様な波がいつも押し寄せます．時には荒々しい波が押しかけて港に停泊した船と施設物たちと海岸に近い家たちに被害を被らせます．
私たちの生にも類似の現象が続きます．さまざまな原因で私たちの心には不安と懸念の波が常に押し寄せます．台風や地震がつなみを起こすように私たちの日常生活に発生する問題が不安と懸念の荒々しい波を起こします．だから不安と懸念の荒々しい波が心の港と海岸を荒すことができないようにする適切な取り計いが必要です．他に言って心に防波堤を建設しなければなりません．今日は四つの種類防波堤に対してよく見ます．

第一、感謝の防波堤があります．

バビロンが征服された後ダリオ王が即位しながら一番先に行ったことは行政組職の整備でした．120 傍白の統治を受けるいくつの大区域で区分して大区域を小区域で分けました．120 傍白の上に総理三つを置きました．ダリオ王は三人の総理の中ユダヤ人ダニエルを寵愛しました．すると他の二人の総理と傍白たちがダニエルをそねんでダニエルを告訴する公務上のとがを捜そうと思ったが失敗しました．ダニエルは有能のみなく正直でまじめだったからです．そうする中に彼らは一つ方途を捜し出しました．ダニエルの信仰と係わってとがを作り出そうと思いました．いよいよ彼らが王の前に行って一つ提案をしました．“ダリオ王よ，御健康を祈ります．王国のすべての総理と首領と傍白と官員が相談した結果一つ法案を立てて禁止令を執行することを王に求める事にしました．王よ，誰でも三十日の内に王の外にどんな神さまや人に切に求める者は獅子の穴に投げるようにしてください．王よ，禁止令を立てて調書にはんこを押して，メデ人とペルシア人々の変更することができない法に沿ってそれを直すことができないようになさってください．” ダリオ王は臣下たちが自分を尊くのだと思って調書に署名捺印しました．ところでダニエル書 6 章 10 節に次のような場面が記録されています．

“ダニエルは、その文書の署名されたことを知って家に帰り、二階のへやの、エルサレムに向かって窓の開かれた所で、以前からおこなっていたように、一日に三度ずつ、ひざをかがめて神の前に祈り、かつ感謝した。” ダニエルは王の調書によって命が危なげな地境に置かれたにもかかわらず神様に感謝しました．ダニエルの一挙手一投足を虎視消消と察した悪い輩らが手間を取らないでダリオ王に行ってダニエルを告発しました．やっとダリオ王は臣下たちの下心が分かるようになったが時はもう遅れました．ダリオ王は自分が決めた法に縛られて仕方なくダニエルを獅子の穴に投げるようにしました．王がダニエルに言うのを “あなたがいつも仕えるあなたの神様があなたを救われるように願う．” しました．ダリオ王は全然食べなくて夜が明かしたすぐ獅子の穴に行きました．王がそのかきに身近にのぼってダニエルを呼びながら “生きていらっしゃった神様のしもべダニエルよ，あなたがそのように常に仕える生きている神様があなたを獅子たちから救援したか?” しました．その時あなの中でダニエルの声が鳴らして出ました．**“ダニエルは王に言った、「王よ、どうか、とこしえに生きながらえられますように。わたしの神はその使をおくって、ししの口を閉ざされたので、ししはわたしを害しませんでした。これはわたしに罪のないことが、神の前に認められたからです。王よ、わたしはあなたの前にも、何も悪い事をしなかったのです」。”（ダニエル書，6:21,22）**．その音に王は走るように嬉しくて直ちにダニエルをあなからあげなさいと言い付けました．獅子の穴に投げられてもダニエルの心には防波堤がありました．何の事に会っても神様に感謝したからその感謝が防波堤の役目をして不安と懸念の波が荒々しく押しかけても彼の心には侵犯することができなかったです．

第二、祈祷の防波堤があります．

気づかうする問題はこの世の中どこでもいるがすべての人が心配の波に荒されながら生きて行くことではないです．心配に対して確かな対策があります．**“何事も思いわずらってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。そうすれば、人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いとを、キリスト・イエスにあって守るであろう。”（ピリピ人への手紙，4:6,7）**．祈祷は心配の波を阻んで消滅させる催上策です．祈祷に対して誰かがこんなに詩を作りました．“私たちが心配をしても私たちがやきもきをしても私たちが煩悶して心配しても神様は分かる振りもしない．しかし私たちが祈祷をすれば神様は耳を傾ける．” 神様に祈れば “すべての人知にすぐれた神様の平安がイエスキリストにあってあなたがたの心と考えを守ってくださる．”と告げました．心の平安は祈る者にくださる神様の贈り物です．神様の平安が心に来れば神様の手に問題が任せられたことを意味する青信号です．気づかう時間に神様に祈るのが上策です．祈れば卓越な考えを得るようになります．祈れば心と考えに理解を超越する神様の平安が臨むようになります．祈祷は不安と心配から心を平安するように守ってくれる防波堤です．

第三、讃尿の防波堤があります．

ヨシャパテ王がユダ国を治める時モアブ，アンモン，マオン連合軍が侵攻しました．ヨシャパテ王は神様を敬い畏れる信仰が透徹したから全民に禁食領を宣布して王と民が神様の聖殿の庭に集まって祈りました．讃尿する任務を引き受けたレビ子孫たちはエルサレム城邑全体が立ち去るように大きい音で神様を讃尿しました．王と民たちは予言者を通じてくださった勝利の予言を信じてもう戦争で勝利を得たのように讃尿しました．ヨシャパテ王は民でいっしょに議論して讃尿する者等を軍隊の前に立てることに決めました．彼らに聖殿で奉事する時に着る細麻布の上着を着せました．讃尿内容は単純でした．**“主に感謝せよ、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」”** ヨシャパテ王と民たちが讃尿を呼んで戦場で行って見たら見えることは皆が死骸と物資たちだけでした．神様が介入して攝理なさって連合軍たちがお互い殺して全滅されました．ヨシャパテ王と民たちは争わないで勝利の結果物である戦利品を取り入れました．その量がどれほど多いのか三日にわたって運びました．ヨシャパテ王と民たちが連合軍と戦うために戦場に進む時彼らは恐ろしくて震えなかったし心配しなかったです．彼らは讃尿しました．恐ろしさと心配のつなみが讃尿の防波堤にぶつかってその威力を現わすことができなくなったのです．

第四，聖書の言葉の防波堤があります．

ある女人が姙娠して定期的に病院へ行って診察を受けて来たが出産の日が近づいて来ながら問題が発生しました．出産する中に大出血が発生して生命を失う危険が高いという医師の診断を受けました．恐ろしさと心配でそわつくその女人にご主人が自分の危機克服の方法を知らせてくれました．それは信仰と神癒に関する聖書句節たちを読んで黙想するのでした．その女人はご主人の忠告どおり聖書句節たちを暗誦して黙想し始めました．するとどの瞬間に彼の心に不安と懸念が消えて信仰と平安が落ち着くようになりました．出産時に分娩室には緊張が漂いました．医師と看護婦たちがもしの事態を備えて取り計いました．ところで驚くべきなことに無事に解散しました．その瞬間医師が “こんな事は奇蹟だ．” と言ったと言います．聖書の言葉の防波堤が不安と懸念を阻んでくれたし神様の奇蹟を出しました．

聖徒の皆さん，不安と懸念がない所を捜し回るのではなく不安と心配の波が入ることができないように心に防波堤を堅く建設してください．感謝の防波堤，祈祷の防波堤，讃尿の防波堤，聖書の言葉の防波堤を持つようになることでいつも胆大で平安な心で生きて行くように願いします．